



# 令和6年度 東京都立白鷺特別支援学校 学校経営計画

長らく教育活動に制限をもたらせていた新型コロナウイルス感染症対策も令和5年5月の感染症法上の扱いの変更を機に終息となった。安心・安全な学校の実現のため、状況に合わせた感染症対策を施しつつ、令和6年度は大きな制限は施さず、充実した学校生活の実現に力を注いでいく。

今年度は昨年度大きく進展した、江戸川区との連携をさらに深め、職業教育のさらなる充実に努め、知的障害特別支援学校高等部の責務である進路指導の充実につなげていく。

また、卒業後のくらしに必要な基礎的学力とコミュニケーションの充実を図る。併せて、重度の生徒の障害特性に起因する困り感の軽減につながる指導の充実に力を注ぐための組織的な指導力向上の取組みを推進していく。

変化の速い社会に対応するため、更にデジタル活用の推進を図る。学習指導の場面では、より生徒の意欲や理解を深めるツールとして、活用の術を模索すると共に、学校として対応力の向上に努める。また、校務におけるデジタル活用を、効率化や多様な働き方を可能にするツールとするための。併せて、意見周知や収集でのデジタル活用を進め、相互理解や取組みへの迅速な評価・検討を実現し、柔軟な学校経営の実現を図る。

地域でのくらしの充実に向け、江戸川区と連携し、高等部の責務である生徒一人一人の願いを叶える進路指導の実現に一層の力を注ぎ、目指す学校像である「学びをくらしにつなげる学校」の実現に取り組んでいく。

## I 本校の教育

人道に基づき

東京都立白鷺特別支援学校は  
質の高い特別支援教育を提供します。

## II 本校の教育

### 1 目指す学校

### 学びをくらしにつなげる学校

- ◎学び                   とは 学校での教育活動全てのこと
- ◎くらし                とは 主に家庭生活、職業生活、余暇活動のこと
- ◎つなげる            とは 江戸川区や卒業後の関連施設との情報共有や具体的な継続支援のこと

### 2 目指す生徒

### 地域で元気にくらしていける人

- ◎地域                   とは 自分がくらす江戸川区のこと
- ◎元気                  とは 意欲があり健康な事
- ◎くらししていけるとは できることは自分でやること

### 3 目指す教育

- これまでの学校教育で培った「できる」を「つかう」に深化させる教育
- 卒業後のくらしに役立つ学びと意欲を高める教育
- 障害が中・重度の生徒の社会参加の力になる教育

### Ⅲ 中期的目標と達成に向けた方策

#### 1 一人一人の暮らしにつながる教育の実現

- (1) 卒業後の豊かな生活の実現のための指導の充実を図る。
- (2) 生活の質の向上を図るための指導の充実を図る。
- (3) 健康・安全（防犯・防災）に関する指導の充実を図る。

#### 2 授業力向上のための人材育成

- (1) 若手・中堅・ベテラン全てが意欲的に授業づくり取組む環境づくりを整備する。
- (2) 外部専門家を有効に活用し、より効果的な指導の実現につなげる。
- (3) 研修活動の活性化のための体制整備を推進する。

#### 3 社会の変化に対応する効率的で説明責任を果たせる運営

- (1) デジタル活用を促進し、変化の速い社会への対応を推進する。
- (2) 授業づくり・専門性向上のための時間確保を推進する。
- (3) 働き方改革の促進のための校内組織等の体制を整備する。

#### 4 多様な働き方を実現する職場環境の整備

- (1) 各種制度を活用しライフスタイルに応じた働き方が実現できる職場環境を構築する。
- (2) 相互補完を実現し、人材育成につながる指導及び業務体制を構築する。
- (3) 教職員の健康増進とメンタルヘルスの維持・向上につながる体制及び環境づくりを進める。

### Ⅳ 今年度の取組目標と方策（学校経営目標・行動計画）

#### 1 暮らしにつながる学びの実現

- (1) 地域資源等を生かし、生徒一人一人が意欲的に取組む学習活動を充実
- (2) 個々の生徒の願いを叶える進路指導の実現及びキャリア教育の充実を推進
- (3) 成人を迎え地域で安心して生活するために必要な知識・技能の獲得するための授業づくり
- (4) 社会変化に対応する、デジタルを活用した学びと、卒業後のくらしで活かせる学習活動の充実
- (5) 創造的な学習活動・芸術文化的学習活動・体育的学習活動等の充実を推進
- (6) 生徒の意欲が高まる、部活動の充実を推進
- (7) 学校図書館を活用した言語活動・読書活動の取組みの充実

#### 2 地域と連携した特別支援教育の理解推進

- (1) 江戸川区関係機関等及び地域と連携した暮らしにつながる多様な学習活動の構築
- (2) 地域の特別支援学校及び高等学校、教育委員会との連携・協同性の構築
- (3) 高等学校及び関係諸機関等への相談・授業支援等の推進
- (4) 個々の生徒のニーズに応える専門性の確保と校内支援体制の充実
- (5) 地域中学校等と連携した円滑な入学相談業務の推進
- (6) 保護者等への相談・研修・理解推進活動の積極的な推進

#### 3 安心・安全・温かい学校生活の提供

- (1) 地域中学校、都立特別支援学校中学部との引継ぎ・連携を十分に図った個に応じた指導の推進
- (2) 健康で充実した学校生活を送るための学校保健活動等の推進
- (3) 高い人権意識による体罰・不適切な指導の根絶、いじめ及び児童虐待の未然防止の推進

- (4) 地域・関係機関等と連携を図った安心・安全なくらしにつながる指導の推進
- (5) 保護者の声に傾聴し保護者と協同・協力した教育活動の推進

#### 4 教育公務員としての資質及び専門性の向上

- (1) 組織的な人材育成を土台とした専門性の向上と教育公務員としての資質向上
- (2) 活発な相互授業参観と校外の研修会を活用した専門性の向上
- (3) 経営方針と担当職務等の連動による積極的な経営参画による組織の活性化
- (4) 各種法令・規定等を遵守した職務行動の徹底による服務事故の防止
- (5) 個人情報 の適正な管理と規則・規定等に則った厳格な職務行動の徹底
- (6) デジタル活用に関する知識・技能等の向上と運用

#### 5 教育環境の充実及び業務効率化のための基盤整備

- (1) 働き方改革の主旨を実現する効率的な学校組織と教育活動の整備の推進
- (2) デジタル活用の良さを活かした積極的な広報活動の推進
- (3) 一般需用費のセンター契約率70パーセントの達成とその維持
- (4) 校舎内外の改修・整備を進め安心安全な学習環境の整備
- (5) デジタル活用の特色を活かした業務の効率化の推進

#### 6 組織力の発展・向上とチーム力の発揮

- (1) 担任間・教科担当間の情報共有及び相互協力体制の強化
- (2) 各自の強みや研修成果をシェア・サポートした授業力並びに校内外への支援力の強化・向上
- (3) 教職員個々の能力を最大限に引き出すためのチームワークの強化・伸長のための体制整備
- (4) 職場の信頼関係の醸成による相互補完・助け合える体制づくりの整備
- (5) 経営企画室と協同した教育環境・教育活動の整備及び充実（校舎老朽化への対応）を推進
- (6) デジタル機器の効果的な活用に向けた環境整備と研修体制の構築

### 《令和6年度の取組み目標を推進するための主な数値目標 GOAL16》

- ①授業力向上のための相互授業参観による指導助言力のブラッシュアップ …… 参観率80%以上
- ②シェア・サポート研修での教材展発表/校外研修報告 …… 一人1回(全員)
- ③校外の研修会への参加と校内への還元による組織的な授業力の向上 …… 延べ60回以上
- ④授業改善・授業力向上のための外部専門家の活用 …… 一人1回以上(全員)
- ⑤ICT機器等を活用したデジタル教材の開発・活用 …… 各自2つ以上
- ⑥on-lineを含むICT機器を活用した(生徒が操作する等)授業の実施 …… 授業単位1回以上
- ⑦地区拠点校として都立高等学校等への支援のための連携・訪問支援等 …… 9回以上
- ⑧個に応じたキャリア教育の推進による生徒個々の進路指導の実施 …… 満足度90%以上
- ⑨入学前機関等とのケース引き継ぎ …… 新入生全員 / 2・3年生随時
- ⑩防災ノート、東京マイ・タイムライン等を活用した防災教育の実施 …… 全学年1回以上
- ⑪ラインを明確にした校内組織体制の整備(ガントチャートの検証等) …… 全組織学期1回
- ⑫体罰、個人情報に関わる服務事故の根絶 …… 各々事故0件の維持
- ⑬HP(ホームページ)を有効活用した広報(Xの活用含む) …… 更新年100回以上
- ⑭クリーンデスクの実施 …… 毎週金曜日(48回)
- ⑮学校評価アンケートの保護者回答率の向上 …… 前年比10%以上
- ⑯マイ定時退庁日の設定及び1日当たりの在校時間11時間以内の推進 …… 全教職員80%以上